2020年 1月 6日（月）

# 地球健活新聞

発行日 令和2年 1月6日(月)
発行者 愛知県刈谷市立住吉小学校

美濃輪 陽世

## 「脱プラ」で海洋生物の大切な命を守ろう!!

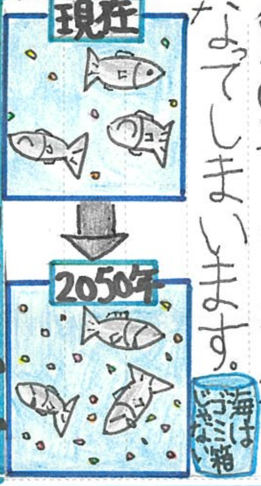
愛知県にある東山動物園の水辺に長く残るプラスチック展で、初めてマイクロプラスチックの実物を見ました。海洋おせんは、遠くの海のことではなく身近な所で起きているほど深こくなのだと知りました。プラスチック製品の軽量化が進み詰めかえ用制容品もふきゅうしているし、プラゴミの分別もしているから大丈夫だと思っていましたが、調べてみると、実さいには全体の一割弱しかきちんとリサイクルされておらず、焼きゃくされたり海へ流出している現実があることが分かった。

河口の岸辺で収集したマイクロプラスチック
2019.07.20

水辺に長く残るプラスチックゴミ展
2019.07.20

**プラスチック問題は他人事ではなく、自分事として考え行動することが大切**

今のまま使い続けると、二〇五〇年には、海中のプラゴミの量が魚の量よりも多くなってしまいます。



**海洋生物が元気にくらすためには、使用量のさく減が重要**

## 未来への責任を持って選択して使おう

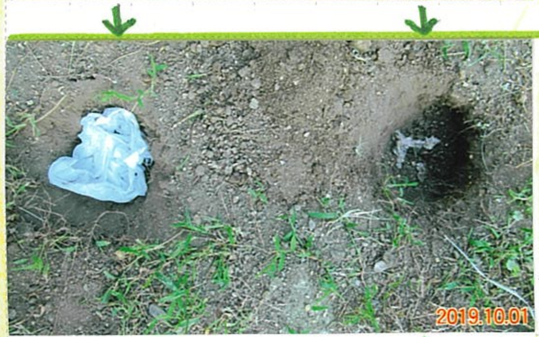
庭で育てた綿花とビニール袋を、穴をほってうめ、土に還るのか確めました。

2019.09.01

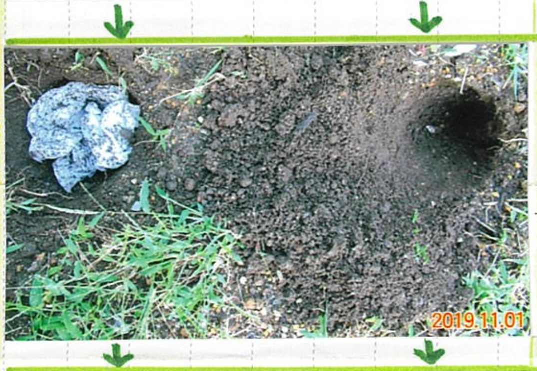
2019.09.01

2019.09.01

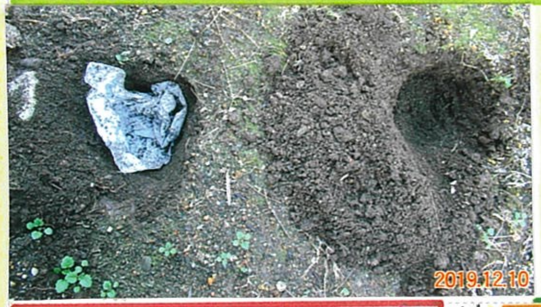
2019.09.01


2019.10.01

一ケ月後 ㊔1/3以下に。ビ変化なし


2019.11.01

二ケ月後 ㊔ほぼ土に還った。ビ変化なし


2019.12.10

三ケ月後 ㊔全て還った。ビ変化なし

## 食品ロス0（ゼロ） 梅干し作り

梅をつける時に家につけ物石が無くても大丈夫です。私は、つけ物石の代わりとして使える物を家の中で探しました。発見した物はお米です。量の調節もしやすく使い終った後には、食べることができるので置いておいてもじゃまにならず、ゴミになることもありません。専用の物を買う前に代用できる物を見つけて使うことはエコにつながります。

2019.06.06

実さいにしっかりと梅をつけることができました。出来上がるまでの工程で出た白梅酢は浅づけ作りに利用し、赤梅酢はおにぎり作りに利用しました。そして赤じそはしぼって干し、かんそうさせてすりつぶした物に塩をまぜて、ゆかりを作りました。

2019.07.25

## 伝統食には、昔からの知恵＝エコがたくさんつまっています

2019.07.25

使い切ることが大切!!

## ハッピープロジェクト

学校のボランティアの授業で地域の公園を清そうしました。自分たちにできることを考えて行動すると地球が幸せ!!

## 緑のカーテン 最後は作品に変身

夏の日差しをやわらげ、エアコンのエネルギー消費を減らしてくれたふうせんかずら。種の皮を羊のもとして作品に使いました。

## 少しのひらめきで、ゴミが素材に

2019.08.31

## 編集後記

「これからもコツコツと」

持続可能な社会をつないで行くために身近な生活の中から今の自分にもできることを見つけ、実践し続けて五年目になりました。自然の恵みから生まれ、土に還すことができる物を選択して使うことは、未来へのバトンになります。地球がいつまでも健康でいられる様、頑張ります。

SDGs Dashboard
2019.07.30

世界中で達成できますように。

全国銀行協会、朝日小学生新聞、朝日新聞社